※令和４年度以降入学生用

学校番号	T1202

令和５年度　工業科

教科	工業	科目	パソコン 0S	単位数	１単位	年次	2～4 年次
使用教科書	自主制作教材						
副教材等	特になし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業と実習を交互に行い､実感しながら学習できる環境をつくる｡パソコンは専門用語が多いため、専門用語をパソコンの動作と関連させながら授業を行う。

２　学習の到達目標

工業生産や社会生活と相互に関連付けて考察、実践的・体験的な学習を行うことなどを通して、コンピュータシステムを活用した情報処理の効率化ができるようにすることを目標とする。そのため、コンピュータシステム技術に関する知識を理解し、それらに関する課題を判断し、表現することで、解決する力を育む。さらに実習を通して主体的に取り組む態度を育成する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・コンピュータシステム技術について理解し、関連する技術を身につける。	・コンピュータシステムに関する課題を見いだし、解決する力を養う。	・コンピュータシステムの構築と運用について自ら学ぶ態度や、情報技術の発展に主体的に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

前期	後期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
					知(a)	思(b)	主(c)
4月	10月	パソコンの歴史	現在のパソコンが出来るまでの経緯について教える。	a:パソコンの歴史の正しい知識を養い、考えることができる。 c: パソコンのついて関心を持ち、積極的に取り組もうとしている。	ワークシート 口頭試問		授業観察 振り返りシート
5月	11月	パソコンの基本的な動作原理	パソコンが実際にはどのような動きをして計算をし、動いているのかを教える。	a:パソコンが実際どのように動いているかの知識を養うことができる。 b: パソコンの基本的な動作原理を正確に判断し、表現することができる。 c:基本的な動作原理に関心を持ち、考察しようとする。	ワークシート 口頭試問	パフォーマンス課題	授業観察 振り返りシート
6月	12月	OSの種類と特徴	現在、OSには主にWindows, Mac OS,UNIX,Leunxがあるが,それらの特徴や何故、Windowsが一番普及しているのかなどを教える。	a:現在の OS の種類について知り、Windows に関して正しく理解することができる。 b:OS の普及について、自らの考えを表現し、正しく判断することができる。 c:OSについて、関心を持ち、積極的に取り組もうとしている。	ワークシート 口頭試問	パフォーマンス課題	授業観察 振り返りシート
7月	1月	Microsoft Windows の基本的な使用方法	ソフトウェアのインストール・アンインストール方法、エラーチェックや最適化について教える。	a: Microsoft Windows の基本的な使用方法についての知識や技能を養う。 b:基本的な使用方法を活用し、最適化について考えることができる。 c: Microsoft Windows に関心を持ち、積極的に取り組もうとしている。	ワークシート 口頭試問	パフォーマンス課題	授業観察 振り返りシート
9月	2月	パソコンの性能に応じたパソコンの使用方法 OSの使用方法	パソコンのCPU,メモリーやHDDの性能や容量に応じたパソコンの使用方法を教える。 自分の使用する範囲でOSは何がよいか。また使用するソフトウェアはなにが良いか考えられるようにする。	a: CPUメモリーやHDDの性能や容量についての知識を高め、考えることができる。 b:自分の使用する OS、ソフトウェアについて考え、正しく判断することができる。 c: パソコンの性能や、OSの使用方法について関心を持ち、考察しようとしている。	ワークシート 口頭試問	パフォーマンス課題	授業観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度